

おわりに

「電波の医用機器等への影響に関する調査研究会」は、携帯電話端末やRFID機器から発射される電波が植込み型心臓ペースメーカー等に及ぼす影響に関する実証実験を含む詳細な調査研究を行い、その結果から必要に応じて新たな指針の策定等により、植込み型心臓ペースメーカー等装着者の不安を軽減し、安心して携帯電話端末やRFID機器と共存できる電波環境の確保を目的として調査研究を行った。

今回の調査研究において、現行の「22cm」指針の下で新しい携帯電話端末も安心して利用できる電磁環境が維持されていることが確認できた。また、昨年度実施したゲートタイプ及びハンディタイプに加え、据置きタイプ及びモジュールタイプのRFID機器による電波の影響を防止するための指針を示すことができた。このことで、国民の不安の軽減や安心して携帯電話端末やRFID機器を利用できる電磁環境の確保に寄与できれば幸いである。

最後に、「電波の医用機器等への影響に関する調査研究会」の座長を務めて頂いた東京女子医科大学 高倉学長をはじめとする各委員の方々及び調査にご協力頂いたペースメーカー協議会、社団法人日本自動認識システム協会、通信事業者に厚く御礼申し上げる次第である。